

平成24年11月

## 長崎港港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査専門委員会

### 1 委員会報告書概要

本委員会では、長崎港松が枝地区に大型客船を受け入れる計画（港湾計画改訂）に伴う船舶航行の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

今回検討対象とした計画施設は、同地区の既設10万G/T級旅客船バースを15万G/T級旅客船バースに改良し、新たに10万G/T級旅客船バース及び3万G/T級長距離フェリーバースを整備するものであるが、主としてそれぞれのバースに関連する回頭水域、航路における操船の安全性について調査・検討した。

この結果、各回頭水域については、船舶の規模に応じて一時的に係船浮標を撤去する必要があるものの、施設上特に問題はないことを確認したが、航路については、船型に対応した幅員の面で安全な航行を確保するためには行き会い船との調整等が必要となること、航路の屈曲部における操船上の安全を確保するためには同付近海域における錨泊船との利用調整を行う必要があることを提言した。

また、今回の計画により同港への大型客船等の入港隻数の増加が見込まれるため、従来にも増して他船との航路・港内での競合が極めて深刻な問題となるであろうことが指摘され、航路及び対象岸壁前面水域等における運航管理等を行う体制整備が必要である旨提言した。

### 2 調査等概要

- (1) 港湾計画改訂の概要
- (2) 航行環境
- (3) 水域施設と入出港操船の安全性
- (4) 安全性の検討（航路形状について）
- (5) 大型客船の多頻度入港と他の利用船舶への影響
- (6) 航行安全対策